3. ユニットケアに関する研修について

高齢者介護の基本理念である「尊厳の保持」と「自立支援」は、一人ひとりの生活と暮らしの継続の尊重を念頭に、個別ケアと生活支援を実践することによって実現しうるものである。そのため、介護保険施設においては、利用者が自分の居場所を確保した上で、家庭的な雰囲気の中で利用者1人ひとりの生活リズムに沿って過ごせる個室ユニット型の普及を推進しているところである。

ユニットケアについては、画一的ではなく、個人の状態や希望に応じた柔軟なサービスが求められる。その推進に当たっては、ユニット型施設に従事する職員に加え、自治体担当職員においてもユニットケアに関する正しい知識の習得が必要であり、都道府県・指定都市におかれては、次の研修を活用し、ユニットケアの普及に御協力をお願いしたい。

(1) ユニットケアに関する研修（施設整備・サービスマネジメント）について

ユニットケアに関するハード面の整備については、高齢者の生活を理解した上で設計段階における的確な指導や助言を行うことが、その後の適切な介護実践につながる。そのため、平成16年度より施設整備担当者研修を実施し、自治体担当職員がユニットケアへの理解を深め、建物整備相談業務等に活かせるような研修を実施している。

また、ユニットケアの実践は、従来型のケアの実践とは異なるため、高齢者の具体的な生活像やユニットケアの仕組みを充分理解した上で、ユニット型施設の運営について指導助言を行う必要もある。そのため、平成18年度よりサービスマネジメント担当者研修を実施し、自治体担当職員がユニットケアへの理解を深め、施設運営の向上に活かせるような研修を実施している。

平成25年度のユニットケアに関する研修のうち、施設整備担当者研修（定員50名）、サービスマネジメント担当者研修（定員50名）については、国立保健医療科学院（埼玉県和光市）において6月10日（月）から12日（水）の日程で開催を予定しているので、ご了知いただき、ユニットケアの普及に向け、研修への積極的な参加をお願いしたい。なお、カリキュラムの見直しにより、施設整備担当者研修とサー

ビスマネジメント担当者研修を同一日程で行うこととなったので、ご注意願いたい。

(2) ユニットケア研修等事業について

施設管理者研修では、ユニットケアを導入するに当たり、管理者が抱える課題の解決に役立つ事例の紹介や対策について実践的に考えられる内容を、ユニットリーダー研修では、利用者の尊厳の保持やこれまでの生活の継続並びに利用者の自立を支援するためのユニットケアについて理解を深める内容をそれぞれ実施していただいているところである。

都道府県・指定都市におかれては、引き続きこれらの研修の実施主体として、研修の開催や受講者の推薦等、適切な研修運営をお願いしたい。

また、研修受講生の利便性に鑑み、可能な限り職場から近い場所で研修を受講できるように、ユニットリーダー研修実地研修施設の確保についてご配慮いただきたい。

なお、厚生労働省が実施してきた「ユニットケア指導者養成研修事業」については、平成24年度をもって終了することになった。平成25年度以降は、ユニットリーダー研修の講師を養成する研修は、都道府県等又は研修受託団体が実施するものとする予定である。これに伴い、「平成20年度以降の「ユニットケア施設管理者研修」及び「ユニットリーダー研修の実施について」（平成20年3月26日老計発第0326001号厚生労働省老健局計画課長通知）については、年度内に見直しをする予定である。

ユニットリーダー研修は、都道府県等が適切と認めた研修受託団体に委託して実施できることとされているが、都道府県等の判断により、複数の研修受託団体に委託して実施することも可能である。複数の研修受託団体に委託して実施する場合、都道府県等は、研修修了者について修了証番号、修了年月日、氏名、生年月日等必要事項を記入した名簿を一元的に作成し、管理する必要がある。また、研修受講生が混乱しないよう、事前に情報提供を十分に行っていただきたい。